

南部方言傳記

地圖

リ 5

3517

2

6 5 4 3 2 1 0  
JAPAN  
Tajima  
2m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

二三



一戸氏

新古御家人由緒之事

南部信濃三郎先行公嫡男一戸彦太郎行朝ト云  
妻媛故南部ノ家ヲ不継一戸ヲ知行ニテ一戸殿  
ト称ス

**野田**

南部伊豫守親継代浪人巻川何某武功勝タル故野田ノ家ヲ  
継シヨリ改姓ス私曰南部御系圖ノ内十二代ノ主伊豫守信長ト有リ

親継ハ不見得不審

**長牛**

行朝二男一戸樋津守義實始奥郡内サ麻生发  
知行ス麻角郡長牛村ヲ領シテヨリ長牛ヲ氏メ  
行朝二男一戸樋津守義實始奥郡内サ麻生发

**堀切**

同右

**谷内**

一戸樋津守義実  
末葉也

**浅石**

行朝始大老寺遠江守為養子遠江守實  
子出生ノ後行朝津輕津西二居シテ

**金田**

一戸禪正左衛門  
末葉也

**荒木田**

同上

**平館**

同上

**江刺家**

**小輕禾**

千德殿ト云淺石村  
領シテヨリ淺石ヲ氏也

## 久慈氏

或称七户

南部三郎先行公三男太郎三郎朝清、後也  
嫡男美光公ノ長男、久慈氏に先行公  
天正年中久慈備前九戸左近將監政實二一味ニテ  
南部ヲ皆キ九戸城、籠落城ノ後九戸政實ニ一味ニテ  
備前モ仙臺三ノ廻ニテ被誅備前無子故政實ノ末  
第九戸中務ヲ養子トシテ久慈ノ家ヲ令継其上備  
前事政實叔母聟十郎故九戸ニ一味セシ也備前ハ  
中務養子以後實子生ス備前滅亡ノ後實子久慈  
出羽津輕へ逃行其後呑出サシ久慈中務久慈出  
羽兩家ト成也

摂侍

久慈中務用伊郡之内

七戸

七郎左衛門  
ニテ知行

五千石田名部之内野邊地横濱近領セシ所七戸。又曰南遠江守長義、舍  
九郎家國九戸政實ニ一味セシ故家断絶セリ。

野邊地

七戸

野邊地

七郎左衛門  
ニテ知行

松原

久慈ノ  
別し

新田

七戸家國家人也南部大膳大夫

重信公依希新田ト称

中里

## 四戸氏

南部三郎先行公ノ三男或四男孫四郎宗朝ヨリ出

タリ宗朝子孫断絶ノ所後四戸工藤ト云家出々  
リ惣領職ハ四戸下總家也

## 九戸氏

南部三郎先行公ノ立男立郎行連ヨリ數代ニ  
経テ九戸左近將監政實南部ヲ皆キ弟實親共

二亡家断絶

中野

九戸左近將監政實弟弥九郎志和御  
所民部大夫妹聟ト成志和郡ノ内高田

村ヲ領、高田吉兵衛ト云然九二吉兵衛御所ト不和成南部來信直公

仕謀ヲ廻シ志和ヲ亡シ終ニ志和郡南部ノ御半入因是高田改

中野修理ト云始志和郡之内行寄ヲ領シケルカ後  
岩手郡東中野館ニ居住シケルヨリ 中野氏ト称ス  
後高田ノ家断絶セシ事ヲ思ヒ  
子孫ヲ残シテ高田ノ家ヲミタリ

姉帶

九戸ノ別レ

高田

中野吉兵  
衛政姓

八戸氏

本名工藤元八戸ノ領主工藤大助藤原秀信ト云  
人継子十クシテ女子一人アリ於勝ト云因是南  
部三郎先行公六男波木井六郎實長ノ後胤波木  
井六郎政長ヲ奪トシ嫁<sup>ス</sup>之政長武功勝シケル故  
奥州一下向シ工藤ノ家ヲ継<sup>ス</sup>工藤ヲ改本姓ニカ  
ヘリ家名ヲ八戸ト号シ源姓ニ成 矢幅

東氏

本名工藤徃昔三戸名久井ハ工藤祐經嫡子大  
坊丸カニ男下向シテ名久井工藤ト号ス継子  
井ノ家へ養子トナリ工藤ト号<sup>ス</sup>三戸御城  
ヨリ名久井館東ニアリ故世人東殿ト唱  
氏ト成

比氏

南部三代目ノ主又治郎時實公三男孫三  
郎宗實ヲ以テ祖トス 御系圖ニ宗實ハ南部三代目ノ主也 名久  
敷代相續ノ所継子十クシテ福士ノ家ヨ  
リ相續スト云三戸御城ノ比ニアタツテ  
居館アリ世人比殿ト唱氏ト成 比守 比尤  
ノ弟比助右少門南部廿九代ノ主大膳大夫  
重信公依命比守氏トナル

梅田

比守 比尤  
ノ弟別し比尤少門二男

羊内ヲ以  
祖トス  
大守ヘ  
縁厚成

### 足澤

南部廿七代ノ主信濃守利直公御娘比左多門直愛  
妻トナリ才子出生カノ才子足次嫁シテ子共出生シ

### 野澤氏

南部二十代ノ主左多門佐信時公ノ三男  
与九郎重義野沢村ヲ領シテ氏トス

### 南氏

南部九二代主右馬頭康政公ノ三男遠江  
守長義立戸浅水ヲ領シ浅水氏ト云三戸  
御城ノ南ニ居館アリ故世人南殿ト称シ  
南氏ト成ル

### 石龜氏

同康政公四男紀伊守信房三戸石龜村ヲ

### 毛馬内氏

ヨ領シテ氏トス家紋櫻九星下田  
信房二男  
三戸西越  
村ヲ領シ下田氏ト号或南  
遠江守長義二男ト云説アリ

### 櫛山

信房三男櫛山帶力ニ戸  
郡櫛山村ヲ領セシヨリ氏トス

### 同政

康公ノ立男靄貫秀範毛馬内館ニ居

### 氏トス大湯

秀範弟大湯村ヲ  
領シテ氏トス

### 山田氏

南部廿七代主信濃守利直公七男山田主  
水利長ヨリ大學利仲ニテ家断絶山田ト  
称スル事毋山田九郎左多門妹故毋方ノ  
家名ヲ以也

### 種市氏

南部二十代主左多門佐信時公四男津輕

提浦ノ領主提彈正左少門光康後胤也ト

云

大光寺氏

南部ノ家ヨリ別々タリ大光寺遠江守津輕  
郡浦ニ領

三上

本國近江宇多源氏佐々木兼流也

櫻庭

江刺仇々木ノ同姓テ紋四ツ目結十リニ  
二櫻庭安房岡伊郡ニテ田渡黨ト合戦ノ  
時安房強戦シテ指物四ツ目結功しテ一  
ツ目結ト成ニテ針ニテ差通シ用シト云

安藝

南部三郎先行公甲列ヨリ御下向ノ節御  
供シテ來リ後奥瀬村ヲ知行シテ氏トス  
本名小笠原也

南部三郎先行公御供シテ甲次ヨリ來後  
禾田村瀧沢村ヲ知行スリ云世人右ノ四

福士

家ラ南部四天王ト唱タルト云說アリ本

姓不知鵠飼

鵠飼村ヲ領シ氏トス

乳井

福士ヨリ別レタリ津輕  
ヘ移リ住シ津輕爲信

ト戰淺石浪圓兼平高杉高田二同  
ニ慶長年中南部へ落下

神氏 先行公御供ニテ甲州ヨリ來

岩間氏 藤原氏右同断

目時氏 藤原氏也右同断

津村氏 先行公御供ニテ甲州ヨリ來

津嶋氏 右同断

石澤氏

豊川

川守田

洞内

桐田

津田

右何茂姓不知石澤東ノ家ヨリ別ド云說  
アリ又一説ニ花巻石沢氏本名ハ惟子氏  
ニテ石澤村ヲ知行シテヨリ氏トス氏云  
三戸譜代ノ士也

葛巻氏

田頭

梅内

三戸名久井  
ヨリ別  
杉沢

福田ヨリ  
別レタリ

福田

坂牛

穴澤

名久井氏 本名工藤也工藤佑經ノ長男犬坊丸奥  
八戸ニ配流於配所男子アリ嫡男上名久  
井トテ東ノ先祖也二男ヲ下名久井ト云  
奥筋ノ工藤皆此流也犬坊丸無程帰参ニ  
人ノ子ハ三戸ニ留

栗谷川氏

工藤庄司藤原景先子工藤小治郎行光源  
頼朝公藤原ノ泰衡退治ノ後行光ニ岩午  
郡ヲ賜於茲栗谷川ニ館ヲ構ヘ居住シ工  
藤ヲ改栗谷川小治郎行光ト号<sup>ス</sup>時頼朝公  
行光ヲ岩鷺山權現ノ大宮司ト十<sup>ス</sup>煙山

栗谷川ヨリ別タリ  
煙山村ヲ領シテ氏トス

日戸氏

王山

下田

沼宮内

川口

渋民

横

本名川村俵藤太秀卿枝流也相模國住人  
川村治郎秀清末ニテ久治年中ヨリ岩午  
郡ヲ内ヲ領知シテ日戸村ニ居住ス故世  
人日戸ヨ以テ称号トス 王山氏三戸ニ

大萱生氏

俵藤太秀卿遠孫相模國住人川村山城守  
秀高カニ男川村仙鶴丸元服シテ治郎秀  
清ト云大萱生ハ秀清後胤也秀清十三歳  
ニテ源頼朝公ノ御供シテ奥歟ヘ下向奥  
筋船廻ニテ元服加冠加々義治郎源長清  
也伊達泰衡亡テ後奥州志和郡ノ内ヲ領  
數代居住スル所程経テ後足刺尾張守ノ

子孫志和ニ下向アリ御所殿ト唱都山ニ  
居住アリシ故大萱生モ屬之仕ケル所

志和亡テ後南部へ從ヒ大萱生ヲ棄堵シ

川村ヲ改大萱生ヲ氏トス

朽内

紋花

江栖

糸内氏

阿部貞任遠孫秋田城之助阿部近季ト同

家ニテ糸内村ヲ領エテ氏トス

一方井

従昔岩牛郡ハ頼朝公以来而ケル自領シテ南部ニ從有ケルヲ一方  
井形部糸内左近栗谷川仁左多門信直公御味方ニ屬謀略ヲ廻シ  
日戸王山渢民し部大金ヲ信直公ヘ参礼イタサシム中ニモ一方  
井カ娘ハ石川左多門高信公室ニテ信直公一方井村ニテ御徒生  
依テ一方井ノ自光坊ト云山伏信直公ノ御加持十レ八信直公御  
家督有テ二百石被下御領内ノ山伏頭ヲ被仰付一方井形部八信  
直公御母方ノ外祖故刑部一心ノ勧故ニテ岩牛郡南部ノ御半ニ  
入也

田久佐利氏

川屋

和井内

茂市

長澤

花輪

大沢

箱石

根市

中村

重茂

大川

幕目

根城

赤前

鎮西八郎爲朝後胤也爲朝八嘉應四年四  
月伊豆國大嶋ニテ被討嫡子嶋冠者爲賴  
八自害ス二男大嶋治郎爲家ヲハ母抱テ  
落行シ力後右大將賴朝運ヲ岡キ王フ時  
郎等ヲ召連爲家鎌倉ニ<sup>至</sup>賴朝ニ對面有ケ  
ル時父爲朝ハ爲朝敵故爲朝ノ諱トテ立  
ニ丁朝家へ恐有トテ析節佐々木四郎高  
綱御前ニ僕ケルヲ召シ元服ノ親トシテ  
佐々木十郎行光ト名棄奥州ノ内岡伊郡  
ヲ賜岡伊十郎行光ト云田鍛黨ノ始祖也  
右十五家皆田鍛ヨリ別し家故四つ目結

也内亦前計三つ目結

淨法寺氏

畠山莊司治郎重忠後胤也。往昔右大將頼朝公伊達泰衡御退治後畠山重忠舍弟六郎重宗二二戸郡ヲ賜。東鑑曰畠山莊司治郎重宗有重忠ト云々

是淨法寺松岡等ノ祖也。ト云同郡ノ近所二本田ト云村アリ重宗下向ノ第郎等本田治郎近經力ニ男下向シテ寔ニ居故ニ名付ト云。又淨法寺ト唱事ハ松岡ノ一族鎌倉ノ淨法寺ト云寺ニ出家シテ有ケル。

カ松岡ノ嫡子死去故淨法寺ノ出家二戸郡ヘ下向シ松岡ノ家ヲ相續ス夫ヨリ數代ヲ経テ淨法寺修理代慶長年中和賀郡岩崎合戦アリ此時修理利直公ノ命ニ皆淨法寺五千石召放サし畠山六郎重宗數代二戸郡ヲ領來此時二當テ断絶<sub>ス</sub>松岡

淨法寺ハ

太田

吉田

駒ヶ峯

大森

西館

右ノ六家松遷別レ

本名福士也南部二十九代主大膳大夫重信公依命母方ノ家名ヲ以氏トス

也内新渡戸八徃昔右大將頼朝公泰衡征

長坂

じ部

根寺

新渡戸

澤田氏

罰トシテ奥畠御下向ノ項下野國宇都宮  
新渡戸ノ郷ニ御旅館此時新渡戸ヲ召テ

新渡戸ヲ賜子孫江刺郡ヘ落<sub>下</sub>禪貫郡川

口へ來後御家人ト十八百罷

同家也江刺  
ノ家人

### 築田

清水

小屋鋪

志和士也

太田

飯岡

志和御所殿内ニテ四天ノ士也氏家細川  
甲斐築田トテ四人内也志和ヲ皆キ南部

へ來リ信直公へ奉仕

### 大釜

多田滿仲ノ家從藤原仲光カ末葉ニテ始  
八和賀へ下向兄八津輕ニテ見誥内<sub>主</sub>号  
弟大釜氏トテ岩手郡ノ内大釜ニ居住ス

### 岩清水

清水

松岡

宮牛

此二姓志和家人也

志和士也立條家長郷奥畠へ御下向ノ頃  
附奉テ下向郡山ノ岩清水取合岩清水氏  
住居スル故在々所々名ト十シリ

### 舟越

徃昔用伊郡舟越浦へ信濃小笠原ノ一族  
小笠原遠江守有武勇者故武者修行ニ來  
數年ノ内田鍛黨ト戰終ニ舟越浦ヲ自領  
エテ氏トス

### 宮森

本名菊地藤原氏也

達曾部

駒木

細越ハ菊地也達曾部ハ本名多田ニテ多  
田大和守源親之末葉也駒木ハ淺沼孫三

### 細越

長山

郎旗下十リシカ駒木隼人代御家人ト成  
右三家遠野士也  
本名土川戸澤上総从殿家別也戸沢ノ先  
祖比畠源中納言頭家卿也建武ノ頃奥改  
ヨリ上落有テ其末子ヲ岩午郡戸沢ニ残  
置王フ因是地下人戸沢御所ト唱長山モ  
零石ニ留南部ノ御家人トナリ長山ヲ氏  
トス

大槌

上野

橋野上野ヨリ  
別タリ

遠野孫三郎家別大槌ハ大槌孫八郎家断  
絶上野ハ孫三郎弟ニテ上野右近ト云兄  
孫三郎氣仙瀬田禾ヘ没落ノ後遁心シテ

信直公ヘ奉仕二千石賜後謀反ノ聞有テ  
家断絶

山口

本附馬牛遠野孫三郎一族ニテ付馬牛村  
ヲ領セシ处ニ孫三郎瀬田禾ヘ没落ノ後  
付馬牛内藏助ト云者信直公ヘ降参シテ  
御家人ト成山口村ヲ領シ氏トス紋三ツ  
巴也

木名切田

鴨沢本名菊地

平原

右三家江刺浪人也

先行公御供ニテ甲亥ヨリ來其子孫津輕  
二居住シテ津輕ノ城主爲信ニ從居タリ

寄木

本宿

奥寺

シカ為信ノ予越中守ヲ打損シ津輕ヲ立  
退奥寺右馬之丞嫡子ハ左少門ニ男右衛

門岩崎東ノ節利直公へ參御家人ト成

蒔内

浪岡

高田

高杉

兼平

清水

右立家津輕浪人也比畠源中納言頭家ノ  
末也或比岡氏云首津輕浪岡ノ御所氏云  
平氏本國越前比條左京大夫氏政ニ仕へ  
ニ清水太郎左少門末也

母衣綿

比畠頭家太郎左少門末也ノ末也閑伊郡母衣綿ヲ領知地  
下人母衣綿ノ御所ト云

山根

本名矢嶋ト云天正年中淺野彈正長政九  
戸政實謀反ノ節退治トシテ下向矢嶋ハ

長政ノ半二付テ下ル後利直公被召抱八  
戸ノ内山根村ニテニ百石被下矢嶋ヲ改  
山根ヲ氏トス

戸來

又重

木村

村木

南部大九代大膳大夫重信公命ニテ  
類多キユヘ村木ニシエフ本名木村也

右四家紀名虎後胤名虎ハ孝元天皇末也  
本名村田俵藤太秀卿ノ末義濃國ヨリ武

者修行ニ來ルヨリ利直公被召抱志和郡ノ  
内戸内ヲ賜譜代ニ可準ト也歎三引

一説ニ本名仇々木ニテ仇羽内別姓云

本名江刺也遠野戸内ト云歎三ツ柄

朽内久慈下斗禾平氏相馬將門末也

山屋

禪貫山和守一族也。禪貫孫治郎妻附添南部へ來孫治郎死去後孫治郎妻南部大膳夫信直公ノ毒卜成世人禪貫御所卜云中納言藤原ノ山陰卿ノ末禪貫大和守一族也

葛

圓子

中村

柴内

安保親王ノ末藤原氏也

大夫

此二姓大野修理末也

伊藤

本名

大野氏大坂篭城ノ後修理同主馬子孫南部へ

落来

伊藤氏養子卜成

高野

臼井

此二姓天草陳城棄足輕山城守皇直

公へ御抱

葛西

桓武平氏流葛西三郎清重伊達泰衡亡後

賴朝公ヨリ奥州ノ探題ニ被補登米ノ城

二居住天正年中

開白秀吉公ノ爲ニ没落

シテ葛西壹岐守子庄治郎南部へ落下御

家人ト成

濱田

三ヶ尻

本名葛西江刺ノ

家人也三ヶ尻加賀大膳大夫信直公へ甲

上主人兵庫頭重相ノ子江刺長作二千石

并領ス

ト云勝又

葛西ノ家人也

葛西家別し江刺郡ヲ領葛西七騎内也岩屋堂ノ城二代ヘ居然ルニ女子計ニテ家

ヲ継ヘキ男子十キ故下総國千葉从國胤ノ末子來テ江刺ノ家ヲ継<sup>ヒ</sup>是二平氏夕九

故也天正年中開白秀吉公ノ爲ニ江刺兵

江刺

庫頭岩屋堂ノ城ヲ落テ南部へ來御家人

ト成高屋

源三位頼政ノ二男源大夫判官  
兼綱奥誤落列へ下葛西江刺兩家二子孫仕へ

葛西江刺ノ後南部へ來

及川

下川原

小田代

高屋ヨリ別々

菊地

藤原氏也應仁大乱

後九郎

内

ヨリ奥列へ来テ江刺家へ仕へ代  
江刺ノ執權職也シカ菊地代主人ニ諫

言セシニ依テ忽尤近被誅依レ之菊地ノ一

族江刺ヲ退キ多ハ南部へ屬

大田代本名

菊地江刺家人也中項大田代ノ家ヨリ治

郎信滿ト云者繙ケル故葛西江刺ノ一族

二准事アリ人首城

江刺家人也

横井玉内

右二家本名城氏ニテ同家也佐羽内

家人也本名千葉或佐木去

本名畠山氏ト云九戸尤近政實二一味

タル畠山義濃將監末也南部二十九代主

大膳大夫重信公九戸一味ノ心ヲ忘思召

浦田ト改姓スヘキ由依命浦田ト改古義

濃將監ハ二本松右京ト同家也共ニ清和

源氏ニテ足刺ノ家別也二本松沒落ノ後

義濃將監奥へ下九戸ヘ築城スル也

本名上杉也開東官領上杉憲政後胤也憲

政子孫多ニ嫡子ハ比條左京大夫氏康ニ

被討殘子ヲ引連越後へ落行長尾景虎入

道ヲ頼ケル始ハ憲政ヲ尊敬セシカ後ニ

八國中ヲ追出憲政是非ナク奥ノ津輕へ  
落來今渕ト云所ニテ憲政病死依之彼ノ  
子氏南部領苔菴地村へ落來<sup>ル</sup>依之南部殿  
ヨリ苔菴地ヲ被下上杉ト改苔菴地ヲ氏  
トス又苔菴地ノ内ニ樋口ト云所アリ後  
是モ苔菴地ト云別家也

惟子本名佐藤也岩手郡惟子村ヲ領シ惟子氏

トス

析居本名柏山也光孝天皇ノ御末駿河守平兼  
盛ノ後胤奥羽伊澤郡ヲ領シ大林ニ居住  
シケル所ニ井澤ヲ落城シテ柏山平左<sup>タチ</sup>  
門時助南部へ落來御家人トナル平左門

析居

予早世シテ家断絶スル也析居ハ利直公  
ヨリ家領ヲ被下析居家ヲ相續ス

本名宇都宮治部大夫公綱遠孫ニ戸郡石  
切所村へ來改姓シテ<sup>宮</sup>氏ト十八

ノ内ヲ領

一条

板垣

先行公御供ニテ甲次ヨリ來津輕郡

石井

氣田

原

志村

代

久三戸居

泉山

本名星野  
藤原氏也

小向井

右立家先行公御供ニテ甲次ヨリ來

馬場

本名貝森平氏甲次御供内千葉ノ末ト云

岩根

甲次ヨリ來三戸八幡宮神事司也

北川

門屋

中村

伴

義濃部

右六家外四家加

浅野十人衆ト云也

開

平姓也蒲生氏卿家人開右兵衛末也

大開

上方浪人也武者修行ニ來ル利直公御抱也

石川

源姓仙臺葛西ヨリ來

蛇口

川井一戸別ト云紋葵又櫻花中市一戸別

瀧澤

本名小笠原也赤澤本名小笠原

小野寺

藤原氏小野寺遠江守子孫

小保内

保内羽柴八木橋

右羽柴ヨリ來ル内八木橋ハ

秋田城之助實秀家人秋田ヲ皆キ比尾張ニ一味ニテ爾

部へ來ル

岩館

藤原本名宇都宮紋三巴也

本堂

仙比ヨリ來ル本名本堂寺ト云

糠塚

藤根

小田

此三家和賀士也小田ハ巻川

新右ノ門一族也

安部

箱崎

貞任末葉一方井同家也南部廿九代主重信公ノ御時箱崎ヲ并領シテ氏トス

柏葉

立日市

禪貫家人也

本名立日市本名立日市

紋相ノトウ也

瀬川

本名川原藤原氏也

嶋森

本名工藤也嶋森安藝子孫也安藝ハ九戸

籠城内也

本館

重信公御代御取立也

江刈内

本名佐々木也

江釣子

本名高橋藤原氏利直公ヨリ江釣子村ヨ

被下氏トス

辻田

志賀

本名工藤也

小平

甲久浪人也利直公ノ時御家人ト成  
本名宗良廉角士也小枝指ヨリ別タリ

切田

本名氣田甲嶌ヨリ來藤原氏十リ

中嶋

岡

本名谷地也

小山田

甲久浪人也利直公ノ時御家人ト成

藤原氏ナリ紋凡ニ梅ハツ

小館

遠藤

倉館

小森林

下條

下條伊豆守子孫伊豆守ハ武田勝頼旗下

也勝頼亡後子孫沉落ス延宝四年稻葉駿  
河守殿御取持ヲ以大膳大夫重信公被召  
抱食禄三百石被下下條孫左多門被召出  
鷄冠井

鬼柳

岩間

館

本名毛馬内南部卅三代主修理大夫信視  
公依<sup>ス</sup>命館氏卜成<sup>ル</sup>後毛馬内家ヲ継館氏歟  
絶<sup>ス</sup>是又依<sup>ス</sup>命也

桑村

本名福田工藤別也信視公依<sup>ス</sup>命桑村氏ヲ  
称<sup>ス</sup>

山城守重直公御代正保三年御改御支配帳

壹万三千五百石八戸彌六郎

直榮

在名岩手郡中野本名九戸後高田

千拾七石御加判毛馬内三九衛門

長房

二千有八拾貳石北九衛門

直憲

貳千百五拾四石櫻庭兵助

光房

二千百貳石石井伊賀

直弥

二千三百石七戸御城代御加判七戸隼人

直時

二十石

北九兵衛

宣継

千五百石御加判本名土藤

橘山五九郎

吉隆

一戸別

千三百五拾石葛巻覺五郎

元佑

野田源九郎

千石近江村名内堀織部直政

八百石

本名川村氏

未又九郎

八百石奥瀬内藏助

六百五拾石本名川村氏

大萱生長至郎

秀

本名幸良彦原氏

七百石 一方井形部

五百石 小指指權兵衛宗  
五百石 駭馬主膳

五百石 程市孫三郎

五百石 福田宇右門

五百石 御鐵炮頭

五百石 諸一郎右門

五百石 御鐵炮頭

五百石 謂田瘦庵

五百石 又重彌藏

五百石 潤戶勘左門

五百石 葛西庄兵衛

五百石 川守田彌五兵衛

五百石 四百三石

五百石 切田七郎左門

五百石 四百石

五百石 加判石龜七郎衛門

五百石 大釜彥左門

五百石 勘太夫

五百石 四百石

五百石 波田助三郎

五百石 南彥七郎

五百石 目時勘太夫

五百石 三百石

五百石 本堂源左門

五百石 上田平八

五百石 野田内通

五百石 三百石

五百石 直盛

五百石 新渡戸喜左門

五百石 千種右近

五百石 三百石

五百石 石川义膳

五百石 大光寺久菊

五百石 下田將監

五百石 三百石

五百石 波音部少右衛門

五百石 戴百七拾石

五百石 竹林平左衛門

五百石 同

五百石 壱百八拾二石

五百石 戴百六拾石

五百石 内野嘉左衛門

五百石 同

五百石 山田小兵衛

五百石 同

五百石 四戸甚之丞

五百石 同

五百石 正次

父民部美松

駒木次郎三郎

同 東彦七郎

大工棟梁長門

同 貳百石 煙山主母

貳百石

苔邊地九十郎

二百五拾石 中野造酒

三百石

三河浪人  
名田添

瀧沢三郎右衛門

三百石川  
長而頂一戸長牛權右衛門

三百石

名田添  
名田

三雲勘兵衛

二百石小籃原船越與五兵衛

二百十九石

赤沢四郎右衛門

赤沢四郎右衛門

二百石川  
長而頂一戸横濱與左衛門

二百石

吉鳴采女  
船越佐助

吉鳴采女

二百石川  
長而頂一戸相良與三右衛門

二百石

船越与兵衛  
名公選

船越与兵衛

二百石川  
長而頂一戸岩根又兵衛

貳百石

儀我弥五左衛門  
行程改

儀我弥五左衛門

二百石川  
長而頂一戸儀我惣左衛門

三百石

妻龍傳左衛門  
行程改

妻龍傳左衛門

二百石川  
長而頂一戸工藤權太夫

二百石

山田仁左衛門八  
行程改

山田仁左衛門八

二百石川  
長而頂一戸毛馬内九左衛門

二百石

秋田忠兵衛八  
行程改

秋田忠兵衛八

二百石川  
長而頂一戸中野羊兵衛

二百石

石龜五左  
行程改

石龜五左

二百石川  
長而頂一戸久慈喜平治

二百石

成田平左衛門  
行程改

成田平左衛門

二百石川  
長而頂一戸澤里重兵衛

二百石

清左衛門  
行程改

清左衛門

二百石川  
長而頂一戸山根九郎左

同

幕内右邊

豊川又左門

同 四丁二ノ内  
二百五拾石 印佐吉 田孫十郎

宮田瀬云御

同 同 印河奉行 望月孫兵衛

小笠原首名

同 同 印門所東行 田代治兵衛

西海枝助九郎

同 同 三戸番四丁二ノ内 織笠前官

和井内三郎郎

同 同 江戸印加判 野田矢右衛門

石毛松之郎

同 同 江戸印加判 義濃部嘉右衛門

田中久太夫

同 同 江戸印加判 江利長左衛門

松園藤右衛門

同 同 江戸印加判 百八拾石 印佐吉 今淵半九郎

田中久太夫

同 同 江戸印加判 百七拾五石 太田源左郎

鬼押藏人

同 同 江戸印加判 百五拾石 四丁二ノ内 石沢善治郎

中野門助

同 同 江戸印加判 百六拾七石 四丁二ノ内 地口孫十郎

下川原武右衛門

同 同 江戸印加判 日沃弥五右衛門 八

高屋山田助

同 同 江戸印加判 蝶田甚太夫

向井定右衛門

同 同 江戸印加判 小笠原船越助七郎

坂牛源助

同 同 江戸印加判 石井与五郎

小泉甚助

同 同 江戸印加判 蛇口弥三左衛門

木村 李

後印加判

百三拾五石 勝利番 清國勘解由

四丁二ノ内

百六拾石 星川惣助

百赤三石 佐庭吉三郎

四丁二ノ内

江程右左門

百赤石

名輔平氏

宣次宗女

百拾貳石 小本土佐

百石

中鴻庄五郎

百石

下田主税

三室祖

下田大學

百赤石

高棠久左衛門

百赤石

羊糸

百石

小笠原兵平治

百石

伊豆守

百石

中鴻庄五郎

四丁二ノ内

百四拾四石 市三太夫

百三拾壹石 岩波守左衛門

四丁二ノ内

金美

百赤五石 野田平八

百拾貳石 三上七郎

勘解由

百石 大釜兵作

勘解由

百石 園源吉美

西根次郎

百石 一糸助

重音

百石 馬場三之丞

佐久新治郎

百石 吉田江七郎

代羊右衛門

百石 金田市吉

代羊右衛門

百石 田代羊右衛門

忠

百石 混氏助市

忠

百石 土川忠

忠

百石 七戸助之丞

助之丞

百石 蔵川万吉郎

藏川万吉郎

百石 濱田彦三郎

彦三郎

百石 濱川助五郎

助五郎

百石 佐藤正七

正七

百石 佐藤正七

正七

百石 佐藤正七

正七

不名通口

北川清之助

口内有利

江栖九郎清

新糸佐

小野木高多助

中野才多喜

四十人同

原平左助

佐藤又市

四十人同

山田三郎左助

猪四郎左助

四十人同

石巻吾安助

猪四郎左助

四十人同

佐藤伊集  
内助

猪四郎左助

四十人同

多條你之助

猪四郎左助

四十人同

山田半兵衛

猪四郎左助

四十人同

平館八左夫

猪四郎左助

八十石

一ノ別  
薰西田玉吉

猪四郎左助

七十石

小保内源右衛門

猪四郎左助

七十八石

一ノ別四十人同  
八重澤源之助

猪四郎左助

五十五石

内浦納戸  
内浦昌助

猪四郎左助

同

猪速益五郎

猪四郎左助

六十八石

小平左近

猪四郎左助

六十八石

谷地平左門

猪四郎左助

五十八石

大川彦三助

猪四郎左助

五十八石

猿賀牛助

四十人同

地方分百石

五百八十八石

内御加判四人江戸御加判四人

四十人同

猪速益五郎

猪四郎左助

七十八石

平内義政

猪四郎左助

七十八石

工藤長助

猪四郎左助

七十八石

内井柄臣

猪四郎左助

同

猪速益五郎

猪四郎左助

同

猪速益五郎

猪四郎左助

同

猪速益五郎

根子毛助

工藤久助

御所奉行

赤崎左衛門

御酒奉行

前屋五兵衛

後平太郎

小斗茶小右衛門

佐助

一方井高三郎

四拾石

日時源作

三拾五石

長内少保原源作

武四石

久慈仲六

武武石

四戸金三郎

三於石

角波右京之進

古宣石

小笠原清之而

拾四石

泉山吉翁

五石八斗

風張茂七

拾壹石七斗

磨石檢斷

拾三石

唐或部

計石壹斗

久保新以而

現采取士

右者地方之分也

五拾駱

於比利直公御娘

行馬

古三駱根子中里數馬様  
後南部左衛門佐直房

百於五驮

小村今左衛門

年代表全五郎

田渡左衛門

首也地利平治

立花新藏

煙山侍七郎

喜玉田佐内

達秀幼成左

御利直公御正房

西六石本名池田源治

武五石

首四地金四郎

武壹石

守内左平治

毛馬内三左衛門

武六石

横法利多治

古石

菊地久助

三石八斗

毛輪源九郎

世石

松田久多治

六石壹斗

塙源新近治

三石八斗

四戸印記

同

百五於於

四丁二ノ内

相倉武三衛

同 分四百石赤尾又三衛

百五於於 中原高三衛

百於於 大衛信人

大衛源氏衛

百於於 仰毛山

微田村左衛門

同 仰毛山

高野源氏衛

同 三橋羊助

大失毛

七於於 蒲生金近衛

大衛信人

百五於於 駿河源五郎

大衛信人

七拾五於於 菊田昌助

小笠守金三郎

五於於 山中宗伯

在名傳御

川村忠左衛門

乳井内記

和賀士人

岩崎源之助

志田庄蔵

三戸在名大向小向

小向山

高木市兵衛

太田代官内

三浦之

小寺助左衛門

現未分四拾八人但板馬様於少除百石以上之

地方凡合計百五於人但百石占五百石八石二千

遠野百石ト云

武七於

高屋仁右衛門

同

主家助左衛門

黑波九郎三衛  
門使番

百五於於 佯孫左衛門

百於於 岸田右邊

父伯齋守從公儀御家人

後产年即上交平原房上云

同 同 同

糟屋又三衛

七拾五於於 久慈別松原治三衛

百於於 山田大學四方伯久之

同 同 同

湯治三衛

七拾五於於 筑原市兵衛

同 同 同

大失毛

同 町野多三衛

同 皆因市兵衛

同 上野久三衛

奥寺以太衛

同 仙山中野平姓

中野造酒

同 三戸在名大向小向

中野藤内

男沢吉太衛

糠塚次郎左衛門

川傍吉左衛門

八重猪豫左衛門

同  
古五郎

萬國石十郎

同  
六五郎

釜石伊之助

过立原左衛門

安田八左衛門

同  
七郎右衛門

川井運助

同  
八名付馬牛

浅井升海助

乙部右三之助

同  
九名付馬牛

山口四郎助

三田平左衛門

同  
十名付馬牛

長瀬子之丞

同  
父兄原

猿渡左衛門

鬼柳 浩吉

同  
甲子年在壬

小平助金

黒住伊勢兵

同  
乙石助

中野羊太郎

不知馬用

同  
乙名四郎

葡萄刀

不知伊仙助

同  
丙子肥後國助名

大坂助多助

不知伊勢兵

同  
丁石助

松岡市三郎

船越新左衛門

同  
戊午

高野聖雲

珍木助内

同  
己未

内藤源左衛門

村木長善衛

同  
庚申

中野羊太郎

高屋三彌

同  
辛酉

大石流庄兵

古賀五郎右衛門

同  
壬戌

晴山助左衛門

於五郎

同  
癸亥

妻翁主膳

原 平左衛門

同  
甲子

佐野庄兵

平宿伊赤郎

同  
乙丑

小山田久七

不知伊赤郎

同  
丙寅

内藤治左衛門

不知伊赤郎

同  
丁卯

猪木六三郎

不知伊赤郎

同  
戊辰

不知伊赤郎

不知伊赤郎

同  
己巳

不知伊赤郎

平原助丘門

同 同

工夏女行

父内膳

猶山右九郎

拾取八斗

父内膳

波國久九郎

八斗合役行

小不重之助

同合役行

小不重之助

以所

奥懶伊左衛門

得定

中里典膳

正勝

川崎九郎系

小助移

矢羽内膳

江利久

勝又左内

二名多田

圓子九左衛門

鬼柳善四郎

連吉経連三郎

不名安保

木田久左衛門

三郎合役行

猿松石軍雪

接升金延郎

高杉高左衛門

小助源次郎

内山善房

三郎合役行

接濱善房

江利久

利根四郎

首地忠義

上田伊左門

下地以於石

宮士所在衛門

柄内源行

坂切利左衛門

葛西清五郎

工首庄尼馬

川邑古内

吉内

は里才多衛

鷺洞高三郎

竹子主膳

達

同合役行

一糸全五郎

達首幼忠清

七戶助左衛門

然谷又五郎

西波四郎

行岸用之助

久慈吉助

遠藤八十郎

和井内忠助

竹原庄之助

柄内金之丞

少村清十郎

中條多喜清

菟川政藏

斗ヶ伏源十郎

前田庄兵衛

三野武人乃

吉田猪四郎

山屋勘太郎

廿庶脚助

三野武人乃

田渡又兵衛

同仙少浪人平名

佐藤高之丞

全拾兩

鶴法庵八

現木仰金方百石三下武七酒  
金拾兩

郡山御給人

五拾五石

高田德松

同

白岩高弘清

五拾

大川半九郎

同

七拾五石

河野五郎兵衛

同

白岩高弘清

五拾

村西家廿九人

同

工藤助五郎

五拾

百五十石

瀬田翁人

同

是作壽家平名一户

江東市井店北

江口子从五郎

同

花巻御給人

平名弓橋商店

百九石

江口子从五郎

同

伊庭新助

同

柳庭若丸

印使番中村新之助

下川原利久

同父孫政

葛井猪部

二ヶ村常力

同名甲辰之

岩间宗女

同中名菊地  
中名百蓮山

同产即十郎

同名久

長坂五郎

同鴨沃久七

同名因獄

鷺本善七

同黑沃虎久七

同利直公

麻討金代

同下田久兵衛

同河野庵

鈴木幼四郎

同金矢主殿

同利直公

麻討金代

同保源治助

同河野庵

鷺本善七

同岩佐兵助

同河野庵

鷺本善七

同左田长右郎

同河野庵

鷺本善七

同六拾壹石

同河野庵

鷺本善七

同八拾九石

同河野庵

鷺本善七

同八拾九石

同河野庵

鷺本善七

同六拾三石

同河野庵

鷺本善七

同五拾石

同河野庵

鷺本善七

五拾三石

佐々木幸而

松田氏部

六拾石

平賀忠而

同

玉山幸十郎

同

官野幸左衛門

同

作玉源四郎

同

重義揚

同

地口圓吉

同

松川十三郎

同

中村忠五郎

同

太田羊右衛門

同

石次久藏

同

厨川五三郎

同

猪瀬経左衛門

同

四戸平左衛門

同

糸園永作松

同

中條羊左衛門

同

坂本忠八

同

工藤藤川八

同

西野勘兵衛

同

鬼柳佐三郎

同

江利ヶ子

同

伊賀源兵衛

同

百石

同

松崎又助

同

栗石東膳

同

中野

同

古賀石

同

四拾六石

同

照井助吉

多岐而細

昆小左衛門

三田桂美

皆川久治

曾根義高

小屋森平八

墨間義博

全田一助

中野助左衛門

黒井常力

金田一吉

少湯口經右衛門

佐越伊記

伊賀源兵衛

松崎又助

栗石東膳

中野

古賀石

四拾六石

照井助吉

八石

重武  
弁慶

三於石

係所才

岩間左内

於五石

徳川以市馬

四於石

柳平久之郎

廿五石

長沼平八

古四石

久上作左内

回

菊地金六

回

毛吉之分於五石  
百五於石

百拾五人

### 花卷現兼

五拾於

富沢作左内

回

久左近吉田作助

回

上田治兵衛

回

戸田義秀

回

毛代家小室

回

次第山喜南

回

三春高之丞

回

川村丘内

回

川口主税

秀則

百石

御馬家亮

吉佑

古五於

志賀小左衛門

吉佑

拾伍於

拾伍於人正清圓

吉佑

拾四於

中條五郎喜

右京  
仁義

四於竹馬

人枝  
日戶  
助五郎

三於七石

主於以前也

於五石

徳清勢五郎

六石

佐々木仁昌

武於石

神山久之郎

古石

照井源七

拾五石

高橋仁義

止石

坂内又十郎

回

古七於竹馬

回

斎藤重之郎

回

三於竹馬  
川中野正名  
古七於竹馬  
中野新四郎

回

川又七助

回

川口左边

回

六於人技行

回

龜之藏玄蕃

回

四於人技行

回

岩間六太郎

回

三川化左衛門

回

高橋辰之助

回

川村義喜

回

佐助内仁義

回

右京  
仁義

四訪

三訪

四訪

舊代五郎多  
亦有新四郎  
石井長七  
竹尾山後首行

仰宿歸氣

百四十石

奥瀬小庄忠門

五十石

太田久左衛門

四訪

十五石

工藤以市兵衛

四訪

十七石

蛇口七十郎

四訪

三上平藏

橋田清吉

四訪

三十石

小名工房名久井三七

四訪

拾貳石

吉岡羊之丞

四訪

拾貳石

上林四郎

四訪

拾貳石

高橋文左衛門

四訪

拾貳石

五郎人枝の一系新之助

四訪

拾貳石

宗七枝人佐助之助

四訪

拾貳石

柳内源七

四訪

拾貳石

根吉乃郎四郎

四訪

拾貳石

安東久之助

四訪

拾貳石

伊藤作三郎

四訪

拾貳石

柳内吉次郎

一条主郎

川守田三郎

八日市源之助

細多源市

一

六拾石

日戸三十郎

四拾石

梶川助右衛門

五拾石

齊藤源五

四拾石

工藤小尼衆門

三拾石

菊池吉次郎

四拾石

川守田吉四郎

三拾石

左田長左衛門

三拾石

三上長七

四拾石

佐助正助兵

三拾石

四戸之助兵

三拾石

八木次金九郎

三拾石

種市源六

三拾石

永田源四郎

三拾石

山口九郎兵衆

三拾石

詮平九郎治

三拾石

小向源四郎

三拾石

立毛新九郎

同 同 同 同

大沢源七  
井内源助郎  
工藤吉次郎  
立候正之助

同 同

戸木助郎  
赤田屋四  
船越作翁  
伊勢行馬即人持乃  
管道地介助

## 二戸御給人

七拾石九斗引渡左至夫  
八拾石 山田新助  
六拾四石 伴修三九郎  
七拾五石 上野高之郎  
五拾七石 浮舟 関多源惟

百石 四戸道東  
七拾五石 山本玄三郎  
六拾石 浮舟 麦田五郎  
五拾三石 川邑内信

五拾石 引渡左至夫 諒田清七郎  
同 小笠原之団中舎久之郎

同上 中原源五郎

四拾石 玉掛五郎之郎

同上 原民助之丞

四拾石 杉沢長兵衛

同上 在名原三戸之渡百石水子  
子乃半之而故至矛常涉也

四拾石 小向源右衛門

同上 四拾石 竹原之四郎

四拾石 川口左近

同上 四拾石 竹原之四郎

三拾五石 中川原源七

同上 三拾石 泉山源八

廿七石 百石 久作

同上 古石 志村四郎

久慈世助

於於石

三於石

於九石

於拾八石

於八石

於於石

於五石

於於石

於四石

於於石

於壹石

於於石

於六石

於於石

於三石

於於石

於古石

於拾八石

於五石

百石人百石

以戶御將人

百石

五拾石

回

工農四所萬  
沼田金士郎  
船頭伊助

馬陽乞首

津御文行

高擣賈河

大向領中

相采佐瓦

貝森多四郎

下計兼多三郎

上野十郎

小向俊馬

福守清次郎

伊口吉行

佐藤重三郎

角波辰五郎

釜園太郎

佐藤重三郎

古石

赤石

山邊助五郎

志戶津彌

少陽運動

川寄田參庫

雇地小五郎

蛇沼忠左衛

小向俊馬

福守清次郎

伊口吉行

佐藤重三郎

角波辰五郎

釜園太郎

佐藤重三郎

赤石

山邊助五郎

志戶津彌

古石

赤石

山邊助五郎

志戶津彌

少陽運動

川寄田參庫

雇地小五郎

蛇沼忠左衛

小向俊馬

福守清次郎

伊口吉行

佐藤重三郎

角波辰五郎

釜園太郎

佐藤重三郎

赤石

山邊助五郎

志戶津彌

古石

赤石

山邊助五郎

志戶津彌

六石

名久井右衛門

一七人

少戸源兵

矢幅兵三郎

五松助

四戸義之助

拾助

小笠原左近

五助

田島義左衛門

同

作田治三郎

同

三上助治

同

中波兵三郎

同

久保助五郎

同

山根小太郎

同

岩瀬万喜

御歩引之助

七助武人曾根松伊は庄助

六助<sup>伊は</sup>曾根<sup>伊は</sup>遠山作兵衛

七助

辻五郎助

同

富野久正郎

同

疊助左源太

同

佐藤左平治

同

横浪新之助

同

山根小太郎

同

岩瀬万喜

同

七戸羊三郎

同

下川原羊左衛門

一七八人

寛文十三年七月廿日御徒鹿と六助武人曾根<sup>伊は</sup>以下

伊弉諾命

伊弉諾命

伊弉諾  
伊弉諾

坂平

百助

砂金  
砂金

伊巴

金家

又

道春

手足

石火

若春

正保三年改寛保元年

辛酉九拾七年

信直公御代九戸政實為退治侍野彈西少弼長政下向  
石奥作人極之因給人沙地<sup>シカニ</sup>所謂<sup>シカニ</sup>世<sup>シカニ</sup>人底賞  
三百石 佯作丘衛門<sup>シカニ</sup>或百石 松尾<sup>シカニ</sup>或百石  
或百石 置又<sup>シカニ</sup>山根<sup>シカニ</sup>或百石

回

更後幼経集

百石

越府因獄

回

少川清左郎

回

中村門左衛門

回

詮多良房

回

山根九郎兵衛

一重直公御代寛永十八年作丘衛門五郎兄弟信助武人  
三戸知行而<sup>シカニ</sup>石<sup>シカニ</sup>と討<sup>シ</sup>奉<sup>ス</sup>知行五郎<sup>シカニ</sup>或百石沙取上  
礎付<sup>シカニ</sup>沙下置<sup>シカニ</sup>御<sup>シカニ</sup>信助五郎<sup>シカニ</sup>長助<sup>シカニ</sup>福圓石切<sup>シカニ</sup>  
五拾沙下置<sup>シカニ</sup>作<sup>シカニ</sup>石<sup>シカニ</sup>沙<sup>シカニ</sup>之<sup>シカニ</sup>

一石<sup>シカニ</sup>七石<sup>シカニ</sup>直清毒腰<sup>シカニ</sup>九<sup>シカニ</sup>人<sup>シカニ</sup>是<sup>シカニ</sup>平八

重信公御代<sup>シカニ</sup>百石沙下<sup>シカニ</sup>伊<sup>シカニ</sup>江<sup>シカニ</sup>後<sup>シカニ</sup>江<sup>シカニ</sup>自<sup>シカニ</sup>有<sup>シカニ</sup>

一往<sup>シカニ</sup>首東<sup>シカニ</sup>石<sup>シカニ</sup>三戸<sup>シカニ</sup>助名<sup>シカニ</sup>武<sup>シカニ</sup>と<sup>シカニ</sup>知<sup>シカニ</sup>之<sup>シカニ</sup>之<sup>シカニ</sup>井

玄<sup>シカニ</sup>師

同弟子一到心也。此亦是  
時人所作。一章句也。其後  
又作此詩。故有此說。此詩  
當是大約三十年後所作。故  
有此說。此詩當是大約三十  
年後所作。故有此說。

卷之三

